

## 学校経営推進費 評価報告書（2年目）

標記について、下記のとおり提出します。

## 1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	1 中途退学率の減少 2 進級卒業率の向上 3 学校教育自己診断における生徒の入学満足度の向上
計画名	野崎高校 生徒全員Light Up!作戦 ～生徒一人ひとりがスポットライトを浴びて主役になれる舞台づくりにより、自尊感情にLight Up!～

## 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	3 高校生として必要な規範意識や社会性、人権尊重の精神等の育成に努め中退防止を図るとともに、すべての生徒が安全・安心に生活できる学校づくりを推進する (2) 人権教育や総合的な学習の時間等の取組みを充実させ、他人を思いやる豊かな心や人権尊重の精神の育成を図る。 (3) 学校全体で生徒のコミュニケーション力を向上させる取組みを充実させるとともに、部活動、生徒会活動を活性化し、自立心や主体的に行動する態度を養う。 ※平成30年度までに生徒の卒業率5%向上させる。 ※平成30年度までに学校教育自己診断の「学校へ行くことが楽しい」「担任以外に相談できる教員がいる」の項目を70%以上にする。
事業目標	「生徒一人ひとりを大切に作る学校」として生徒全員の自己実現を支援するため、従来より実践している学力向上・進路実現の取組みに併せ、学習意欲・進路実現意識の土台となる自尊感情のさらなる育成を目標とする。そのために、生徒主体の学校行事の更なる推進を図る。具体的には、体育館舞台における舞台・照明・音響等の設備を充実させ、生徒が文化祭や総合的な学習の時間等における舞台発表へ向け意欲的に取り組みやすい環境を整える。演出・キャスト・照明・音響など、舞台発表の際に必要な役割の多様化・明確化を図ることで、舞台発表に取り組む生徒集団に自己決定・集団決定の機会を与え、自治を実感させる。行事の成功という共通目的を達成するために生徒一人ひとりが自らの役割を「自律」的に担い、他者との協働により「自主」性を養い、「創造」的な行動力を高めるための仕掛けをすることにより、生徒の自己有用感・自己肯定感の向上を図る。行事を通して生徒の「挑戦することができた」「他人の役に立った」「他人に喜んでもらった」という経験を促し、実社会につながる学びの機会を与えることで、生徒の学習意欲・進路意識の向上を図り、自己受容・自己決定に基づく進路実現につなげる。（校訓「自律」「自主」「創造」） ※生徒の卒業率を毎年3%向上させるとともに、学校教育自己診断における生徒の入学満足度を毎年2%向上させる。
整備した 設備・物品	Horizont幕1、張り出し舞台1、調光操作卓1、DMX信号分配器1、DMX信号ケーブル1、LEDスポットライト11、LEDスポットライト用スタンド11、2分岐ケーブル1、プレーカー付き変換ケーブル4、延長ケーブル28、LEDフットライト（ローア・フットライト兼用）8、LEDフットライト用電源ケーブル7、LEDフットライト用DMX信号ケーブル7、ボーダーライトコントロール用コネクタボックス1、コンセントボックス1、ボーダーライトコントロール用リモコンスイッチボックス1、ボーダーライト制御ケーブル1
取組みの 主担・実施者	主担：Jump Up! PT（首席2名及び教職経験5年以上10年以下の教員24名の計26名、うち10名は運営委員会に所属）
本年度の 取組内容	Jump Up! PTを課題別の4グループ（①メディア活用（ICT・図書）授業充実、②授業交流・カリキュラム充実、③生徒主体の行事充実、④総合的な学習の時間・特別活動充実）に分け、主にグループ③を中心に以下の取組みを推進した。①体育館舞台設備活用教員研修（7月）②文化祭舞台発表クラス・団体に対する照明・音響講習会（11月）③文化祭での舞台発表（11月）④中学生向け体験入学会：部活動生徒によるダンス・太鼓・軽音楽の舞台発表（11月）⑤近隣府立学校の演劇授業担当教諭・講師、生徒会主担教諭との情報交換（2月）⑥⑤における3名を外部講師とした「コミュニケーションツールとしての演劇」教員研修（3月）⑦生徒リーダー研修：生徒会・部活動所属生徒を中心に生徒34名が参加し、コミュニケーションや課題達成に関するグループワークを体験（3月）
成果の検証方法 と評価指標	① 中途退学率を前年度比3%減少させる（平成27年度4.7%、平成28年度4.1%）。 ② 第1・2学年における進級率をそれぞれ前年度比3%向上させる。 ③ 卒業率を前年度比3%向上させる（平成27年度95.7%）。 ④ 学校教育自己診断における「学校へ行くことが楽しい」を前年度比2%向上させる（平成27年度66.9%）。
自己評価	①中途退学率は7.8%であった（前年度比+3.7%）。（△） ②第1学年の進級率は81.1%（前年度第1学年89.6%、-8.5%）、第2学年の進級率は85.8%（前年度第2学年89.8%、-4.0%）であった。（△） ③第3学年の卒業率は94.3%であった（前年度比-2.1%）。（△） ④生徒向け学校教育自己診断の「学校へ行くことが楽しい」は65.5%であった（前年度比-0.8%）。（△）
次年度に向けて	2年間のJump Up! PTでの実践により、生徒の自尊感情を高めるための取組みが定着してきたことから、平成30年度はJump Up! PTで推進した取組みを運営委員会・生徒指導部等の既存組織に引き継ぎ、継続を検討する。生徒会が中心となり、生徒主体の委員会活動・行事運営をより活性化させる。また、文化祭のクラス企画では演劇を奨励し、生徒間の人間関係構築に役立てる。さらに、中学生向けの体験入学会やPTA行事等を活用して生徒の舞台発表機会を保障する。これらの取組みにより生徒の行事満足度・学校生活満足度を高め、進路実現率の維持向上、進級率・卒業率の回復上昇をめざす。 同時に、文化祭や体育大会等に代表される学校行事全般のあり方について、「育てたい生徒像」を基軸としながら、運営委員会メンバーを中心に再検討を行う。平成30年度においては、平成34年度の新学習指導要領実施を見据え、運営委員会・カリキュラム委員会等で3年間を見通した授業内容の検討等、カリキュラム全般の見直しに着手するが、学校行事に関連する特別活動や総合的な学習の時間もカリキュラムの一部ととらえ、多面的・多角的に生徒の自尊感情を高めるためのプログラムを組織的に検討する。